

人・街・ながた 震災資料室ニュース

2008. 12. 17

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

2009 (平成21) 年 1月13日 (火) ~19日 (月)

1.17 震災資料室展

長田区役所7階

ギャラリー

神戸の壁絵図展 1/13 (pm2:00) ~1/16 開催

来年はいよいよ震災 15 年を迎える年になる。

‘08年に引き続いて震災資料室展を区民ギャラリーで開催して「1. 17」を思い起こし「人と人とが支え合うこと」の大切さを訴える。

今回は「神戸の壁」が淡路市しづかホール野外ステージから北淡震災記念公園への移設に伴い、長田の地で「神戸の壁絵図展」を開催する。

神戸の壁は長田区若松町3丁目の公設市場の防火壁として昭和2年に建てられ、戦災と震災に耐えてきた証人とも言われている。

オープニングは13日午後2時からリコーダー演奏や詩の朗読が計画されている。

震災資料室展はこれまでに多くの市民の方々から寄贈いただいた貴重な品物や資料を展示して当時を偲ぶとともに風化させずに継承していく大切さを改めて考える契機にしたい。

1.17 記帳所

長田区役所

1階ロビー

9:00~17:00

希望の灯りを

ともして

開設されます



5-41 震災後 1999.3.4 「神戸の壁と路地の朝」
明日から移転工事が始まる
女学生が乗った自転車が通り抜ける

寄贈いただきました

災害ボランティア論

菅磨志保+山下祐介+渥美公秀編

発行：弘文堂

本書は災害ボランティアとは何か、ボランティアとは何を生み出し、何を育ててきたのか、またそこから何を生み出そうとしているのか。これらの問いから災害に関わる「人」や社会、さらに現代リスク社会の問題の本質に迫ろうと試みている (序より)

著者の菅磨志保さん山下祐介さんは当時混乱を極めていた長田区役所に来られボランティアルームによく顔を出してくれた。そして震災資料室の資料にも目を通され、他都市からの応援職員やボランティアの動向や推移を分析されていた姿を思い出す。

蓮池町、行基菩薩の池の跡

4回の国勢調査を比較して 21

	1965年	1975年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	05 90
世帯数	49	38	38	28	255	4	4	9.11
人口	127	120	97	63	480	11	10	7.62
男	59	59	44	27	213	3	5	7.89
女	68	61	53	36	267	8	5	7.42
区人口	214,345	185,974	148,590	136,884	96,807	105,464	103,771	0.71

長田区の各町通の人口動態を4グループに分けて調べてきたが、蓮池町は‘95年にピークを迎えるグループ④に属する。このグループは林山町、萩乃町、鶯町、長者町、東丸山町、高取山町、南駒栄町、雲雀ヶ丘そして蓮池町である。蓮池町と南駒栄町以外は山麓部である。

「蓮の池」は言い伝えによると行基菩薩が天平中（729年～748年）に灌漑用水として築いた17,400坪の大池であった。

「平家物語」に生田の森の合戦に敗れた平重衡が馬をとばして湊川や苅藻川を渡り、蓮の池を右手にみて、駒ヶ林を左手に西へ向かった、とある。

人口動態を見ると‘95年が突出しているのが一目瞭然としている。野球場（西代市民球場）に仮設住宅（30棟、248戸）が建てられたのである。’95年の480人について詳しく見てみよう。15才未満が7%弱で、15才から50才未満が25%で、70才以上が30%を占めていて、世帯人員も2.25人から1.88人に減少しているのがわかる。この傾向が復興住宅へと続いていくことになる。



年代	～15才	～50才	～70才	70才～	合計
人数	33	121	180	146	480

現在は西代蓮池公園に整備され県立文化体育館の東側に広がる3.4ヘクタールの公園で、北から南に傾斜した芝生の丘、幼児の遊び場等があり、ウォーキングコースも設けられている。

【注】「蓮の池」のような大池は、大風による風波で堤が被害を受けやすいため、池の中に水面すれすれの堤を築いていた。“丑の刻参り”の伝説はこのようなことから生まれたのではと言われる。